

江南市スポーツ少年団 秋季軟式野球大会 開催要項

1. 主 旨 各団より団員の参加を得て、軟式野球大会を開催し団員相互の親睦並びにその資質の向上を図り、スポーツ少年団の発展を目指す。
2. 主 催 江南市スポーツ少年団本部
3. 主 管 江南市スポーツ少年団軟式野球運営委員会
4. 後 援 江南市軟式野球連盟
5. 日 時 令和4年9月17日(土)、19日(祝・月)、23日(祝・金) 24日(土)
予備日：令和4年10月1日(土)
※開会式は、大会初日の午前8時30分から
6. 会 場 蘇南公園多目的グラウンド、南野グラウンド
江南市営グラウンド(9/23のみ)
7. 参加資格 江南市スポーツ少年団本部に登録されている団員20名以内で構成されたチームであること。
8. 参加料 1チーム 3,000円
9. 使用球 マルエスJ号ボール(1試合ごと両チーム2個提出のこと)
10. ルール 2022年版公認野球規則及び競技者必携の少年野球に関する事項及び江南市スポーツ少年団軟式野球ルール(申し合わせ事項)による。
11. 表彰 Bクラスは、本部より優勝・準優勝・第三位に賞状・賞品を授与する。
第四位に敢闘賞として賞状を授与する。(参加チーム数により敢闘賞なしがあり得る)
Cクラスは、江南市軟式野球連盟より奨励賞を授与する。
12. 傷 害 本大会中の傷害については、応急の処置は行うがその後の責任はスポーツ安全保険の範囲内とする。
13. 監督者会議 令和4年9月3日(土)午後7時00分 KTXアリーナ
14. 申込方法 各団で取りまとめのうえ、別紙申込書により参加料を添えて監督者会議時に申し込むこと。江南市条例第1号江南市個人情報保護条例(平成15年3月24日施行)により参加選手の「同意の意思」は「大会申込書」で行う。
15. 問合せ先 江南市スポーツ少年団軟式野球運営委員会
16. 中止決定 午前7時に決定し、各運営委員よりチームに連絡する。
17. 備 考 ①エントリーは単位団ごとに行うこと。開会式入場の際は、団旗とプラカードを使用すること。応援旗は不可。
②抽選にて上位クラスの1番くじのチームが、選手宣誓および開会式の典礼を行う。
③決勝戦は、各チームよりアナウンス係を選出すること。
また、試合開始30分前に指定された場所に集合すること。
④閉会式の典礼は、上位クラス優勝チームより選出して行うこと。
⑤開会式直後の第一試合の打順表交換は、開会式前に行う。
(大会本部にて8:10)

江南市スポーツ少年団軟式野球ルール（申し合わせ事項）

1. ルール 2022年版公認野球規則及び競技者必携の少年野球に関する事項による。
2. 試合 Bクラス、Cクラスに分けて実施する。
 - (1) Bクラス〔5年生以下〕（ただしチーム構成上、4年生・3年生の出場も認める）
 - ・トーナメント方式とする。
 - ・試合は6イニング制とし、**1時間30分**を超えて新しいイニングに入らない。
 - ・タイムオーバーの場合、勝っているチームが後攻攻撃中の時はその時点で試合終了とする。負けているチームが攻撃中の場合は3アウトまで行う。
 - ・コールドゲームは、4回以降7点差以上とする。
 - ・同点の場合は、タイブレーク方式で勝敗を決する。
 - ・タイブレーク方式は1イニングとし、**ノーアウト一塁・二塁**で実施する。
 - ・勝敗の決しないときは、最終出場ナイン（打順により行う）による○×抽選にて勝敗を決する。
 - ・ボークについては、即適用とする。
 - ・試合前にシートノックを行います。
 - *後攻チームから行います。
 - *時間は7分間とします。
 - *大会運営上、シートノックを行わない場合があります。
 - (2) Cクラス〔4年生以下〕（ただしチーム構成上、3年生・2年生の出場も認める）
 - ・各チーム2試合を行い、**5イニング**制とする。
 - ・試合時間は**1時間30分**とし、先攻・後攻を問わず時間にて終了とする。タイムオーバーで試合終了の場合は、均等回で勝敗を決する。ただし、後攻チームが同点または逆転した場合はそれを認め優先する。
 - ・3回15点差、**4回以降10点差以上**でコールドゲームとする。
 - ・投手板から本塁までの距離は14mとする。塁間21mとする。
 - ・ボークについては、1回目は注意。2回目以降ボーク適用。
 - ・シートノックは行いません。
 - (3) クラス共通（ティーボールは除外）
〔競技運営等に関する事項〕
 - ・各チームは試合予定時間の30分前に、大会本部へ打順表〔3部〕と試合球2個を提出し、大会申込書（登録原簿）との照会を受けた後、運営委員および監督の立会いのもとにキャプテンが、ジャンケンにて攻守を決定する。
 - ・降雨および日没により試合続行不可能な場合は、**4回終了時**で試合成立とする。試合成立以前に続行不能になった時は、再試合とする。（継続試合は採用しない）
 - ・監督はタイムを要求しないまま、みだりにベンチを出てはならない。
 - ・抗議のできる者は監督・当該プレーヤーとする。
 - ・攻守交代は駆け足でスピーディに行うこと。ただし、投手に限り内野地域内は歩いても差支えない。また、監督がマウンドへ行き帰りする際は、小走りでスピーディに行うこと。
 - ・タイム中、監督がフィールド内に入ることができるのは、同一投手につき1イニング2回までとする。2回目は投手交代時とする。
 - ・監督、選手がタイムをとってマウンドに集まるのは、1試合3回までとする。
 - ・試合終了後、両チームで簡単なグラウンド整備を行うこと。
 - ・一人の投手が一日に投球できる数を**70球以内**とする。（4年生以下は**60球以内**）
 - *競技者必携(2022)P.50 7項による
 - *両チームから1名ずつ、投球数のカウント係りを選出する。
 - *カウント係りは、相手チームの投球数をカウントすることとする。

[球審について]

- ・球審は、江南市軟式野球連盟および江南市スポーツ少年団審判講習会受講者で行う。
- ・監督者会議後に、球審を担当する単位団を決定する。
- ・審判講習会受講者は、受講証を持参のこと。
- ・競技場内での特別規則は、運営委員と担当審判員が協議して決定する。

[塁審について]

<Bクラス>

- ・塁審は、試合後の各チームから1名ずつ選出して三審制で行う。原則、試合後の後審とするが、第一試合は当該試合開催日の最終試合チームより各1名選出する。
- ・一日の試合数により前後審による塁審が不可能な場合は、当該チームから1名ずつ塁審を選出して三審制で行う。
- ・球審および塁審は、審判用帽子を着用すること。(単位団の帽子は使用不可)

<Cクラス>

- ・塁審は当該チームより1名ずつ選出して三審制で行う。

[チーム編成等について]

- ・チームは、監督1名、コーチ2名以内、選手20名以内で編成すること。
- ・ベンチに入れる人員は、監督、コーチ、選手及びチーム責任者(引率責任者)、マネージャー、スコアラー各1名とする。
- ・背番号は監督30番、コーチ29番、28番、主将は10番とし、選手は0番から99番とする。
- ・合同チームでの参加を認める。

[用具、装具、ユニフォーム等について]

- ・同一チームの監督、コーチ、選手は、同色、同形、同意匠のユニフォーム、帽子を着用すること。
※Cクラスについては適用しない。ただし、試合前に球審と相手チームの承諾を得ること。
※合同チームについては、各所属チームのユニフォーム、帽子着用を認める。
- ・金属製金具のついたスパイクを使用することはできない。スパイクの色は自由とし、全員同色でなくても構わない。
- ・捕手は、連盟公認のマスク、レガース、プロテクター、S・Gマークのついた捕手用マスク、ヘルメット及びスロートガード、ファウルカップを装着すること。
- ・打者、次打者、走者及びベースコーチは、S・Gマークのついた連盟公認のヘルメット(両側イヤーフラップ付)を必ず着帽すること。最低7個用意すること。
- ・捕手用マスクは軟式少年用を使用すること。
- ・試合開始前に、審判または運営委員による用具のチェックを受けること。

[試合中の禁止事項等について]

- ・ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。*メガホン使用禁止。
- ・競技場内(ベンチを含む)では、喫煙及びガム等を噛むことを禁止する。
- ・相手チームや審判員に対する聞き苦しい野次は厳禁とする。また、スタンド等からの応援の野次及び目に余る行為はチームの責任とする。
- ・上記事項に違反する場合は、審判が退場を命ずることがある。
*各団で十分な、新型コロナ感染拡大防止対策並びに対応願います。